

# 土曜 ライフ・楽しむ

## わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



した方が駐車しやすいという理由もあるようで、どの記事にも「悪意はない」とありま

外出自粛が緩和され、先日久しぶりに札幌を出て、好天のもと、羊蹄山麓の町を訪れました。無事用件を終え、美しい蝦夷富士にも大満足した帰路、日帰り温泉に立ち寄り

ました。時間が良かったのか、ほかに客は不在で、1人きりでんびりと湯につかり、体の芯から疲れを追い出すことができたように感じました。



脱衣場で体をふいていると、すぐ隣に見知らぬ男性が来ました。ギョッとして急に混雑してきたのかと周りを見回すと、ほかに客はいません。同性とはいえ、広い脱衣場ですぐ近くに來られるのはあまり気持ちの良いものではありません。洗面所に行くふりをして、脱衣かごと移動しました。せつかくの浮かれ気分もなえてしまいました。

数年前、家内と一緒に出かけたときに、やはり日帰り温泉に立ち寄りしました。あいにくの雨で、駐車場はガラ空きです。車を止めて外に出ようとしたらすぐ隣に車が止まりました。「エッ、何？」と助手席の家内がドアを開けるのをためらうほど近い距離です。降りるのをあきらめ、別の場所に移動すると、なんとその車もついてくるではありませんか。「ナンダこりゃ？」と思い、知人かどのぞき込心と全く見知らぬ顔です。気持ち悪くて結局温泉をあき

らめ、駐車場を出ました。さすがにその後まではついてこなかったですが……。



おかしい趣味の人がいるものだと思つて、ネットで調べてみると結構そんな例があるんですね。もちろん混んでいる時は仕方ないですが、ガラガラの駐車場でもわざわざ隣に來るのは「トナリング」、そうする人は「トナラー」と呼ばれていることを知りました。その理由も様々な考察が紹介されていて、どちらかと言えば運転に自信がなくなつてきたシニアに多いようです。白線より車を目印に

このトナラー、最近では、駐車場に限らず、飲食店、電車やバスの座席などにも出没しているそうです。特に困るのは多くの便器が並ぶ公衆トイレ。「なんでわざわざ隣に來るの?」と思つた経験はありませんか。駐車場と異なり、こればかりは途中で移動できないので困ります。

「新北海道スタイル」では、新型コロナウイルスの拡大防止に向け、3密を避けるために一定の距離(2桁ほど)を確保することあります。単なる癖で悪気はないのかもしれないが、相手はとも気持ちが悪いです。

トナラーの皆さん、この機会に見直してみたいかがでしょうか。